

事業番号	07 05 02	事業改善シート（令和2年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	地域産業の活性化事業	部局	産業労働部	課・室	産業技術課		
		実施期間	S60～	E-mail	sangi@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）							
8つの重点目標	付加価値を高め、経済成長を実現						
総合的に展開する重点政策	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成	2-2 地域内経済循環の促進					
	2-5 地域に根差した産業の振興	6-2 信州のブランド力向上と発信					

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿（予算編成時）	【現 状】
	・食品製造業の製造品出荷額等 6,511億円（H26年度）、付加価値額 2,345億円（H26年度） ・製造業付加価値額 1兆9,659億円（H26年度） ・伝統的工芸品産業 事業所数395所（H30.3月現在）、生産額81億円（H29年度）
	【目指す姿】
	・食品製造業振興ビジョンに基づき、長寿県NAGANOの「からだに優しい食品」の創出・提供を核として、国内外の食市場で優位性を確保する食品製造業の実現を図る。 ・県内食品産業の各メーカーが品評会を通じて、食品の品質等の向上を図る。



【実施内容】
地域資源や伝統的な製造技術等を活用した地域に根差した産業の活性化を図る取組を支援

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							区分(単位:千円)	R1年度	R2年度
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況			
1	品評会参加事業者数	199者	180者	↓	132者	↓	150者	未達成	
2	地域資源製品開発支援センターによる商品化件数	28件	22件	↓	19件	↓	30件	未達成	
3	技術伝承講習会参加者数	72者	76者	↑	57者	↓	28者	達成	
4	展示会・商談会参加産地数	30	31	↑	4	↓	20	未達成	
5	しあわせ信州食品開発センターによる新食品商品化件数	20件	21件	↑	20件	↓	20件	達成	

事業コスト	前年度繰越		
	現計予算	52,166	896,721
	合計(A)	52,166	896,721
	うち一般財源	37,885	33,345
	決算額(B)	50,563	253,220
	職員数(人)	4.49	4.49

成果指標設定理由	1 県産食品の品質向上と技術の研さんの成果を把握するための指標 ※目標値：事業者ヒアリングに基づき設定
	2 地域資源を活用した新商品開発の成果を把握するための指標 ※目標値：事業者ヒアリングに基づき設定
	3 伝統的工芸品の技術継承がどの程度図られているか把握するための指標 ※目標値：事業者ヒアリングに基づき設定
	4 伝統的工芸品の販路開拓がどの程度図られているか把握するための指標 ※目標値：事業者ヒアリングに基づき設定
	5 新たな価値の創出がどの程度図られているかを把握するための指標 ※目標値：長野県食品製造業振興ビジョンに基づき設定(5年間で100件)

達成状況の分析	1 例年実施しているみそ品評会が、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止とした目標に到達しなかった。
	2 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、打合せ等に制限が加わり新商品の開発に時間を要したことにより、目標件数に達しなかった。また、近年、市場では品質の高い製品が求められるようになっており、1つの製品開発に係る時間は長くなる傾向にある。
	3 コロナ禍で講習会の開催が制限される中、次世代への技術の伝承をテーマとした当事業に注力した結果、目標を上回る成果となった。
	4 コロナウイルス感染拡大により、予定していた展示会の中止が相次ぎ目標に達しなかった。（組合祭りでは、Webの特設ブースにて県内28産地全てをPR）
	5 しあわせ信州食品開発センターに「食」と「健康」ラボ機能を形成、新食品づくりを支援することで目標を達成した。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 「発酵・長寿」ポータルサイトによるブランド発信 ・発酵食品及び伝統食品の質の高さの発信や旅行コース「発酵巡りツアー」の策定 ・インフルエンサーによるSNSを通じたPRの実施 ✓ 地域資源製品開発支援センター事業での県内企業の新商品開発支援（相談件数545件、支援件数66件、商品化件数19件）。 ✓ 「組合まつりinTOKYO」への出展（2021.1） ・日程：令和3年1月26日～2月25日 ・会場：組合まつりinTOKYO（web） ・アクセス数：30,832回 ・出展産地：28産地（Webの特設ブースで県内28産地の伝統的工芸品を紹介、パンフレット、リーフレットを作成し希望者に配布を行った。） 	 
------	---	---

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・「発酵・長寿県」宣言を一過性の取組として終わらせないためのブランド化の基盤づくりやコロナ禍における新しい食習慣にマッチした食品開発と開発人材の育成が必要 ・近年の人々の価値観が多様化する中、その時代にあわせた魅力的な製品を打ち出していく必要がある。 ・日常生活の中で伝統的工芸品の技術・技能及び商品に触れる機会がまだ不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに得られた科学的根拠を活用した商品開発をし広く国内外へ発信するとともに、食のトレンド変化に対応するための人材育成や食品開発を支援 ・地域資源製品開発支援センターにより新商品開発・ブランディングを図る。 ・伝統的工芸品の展示会・商談会を県内外で開催して販路を拡大するとともに、地域の優れた伝統技術・技能を講習会を通じて伝承し後継者を育成する。

事業名	地域産業の活性化事業	部局	産業労働部	課・室	産業技術課
-----	------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
1	「食」と「健康」ラボ機能形成事業費	17,106 千円	16,437 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	機能性食品開発	委託	・機能性食品開発コーディネーター配置。機能性食品等の商品化支援【支援件数20件(委託先:(一社)長野県食品工業協会)】 ・味噌、蕎麦、甘酒、野沢菜の機能性エビデンスの取得に向け、基礎研究を実施【委託先:信州大学】
2	新商品の研究開発	負担金	産学官連携による「食」と「健康」ラボ研究会により、新商品開発プロジェクト【5件】、食品開発に係る研究会・講演会を開催【2回】(負担先:長野県食品製造業振興ビジョン推進協議会)

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
2	「発酵・長寿」ブランド形成事業費	6,924 千円	4,928 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	各種認証の取得支援	直接	機能性表示食品に関する講演会及び個別相談会を開催【講演会2回、個別相談会1回】
2	県産食品の評価発信	委託	県産食品（クラフトビール）20点を、味覚センサー等による風味評価機器分析とヒトによる官能評価の両面から客観的に評価し、分析シート作成【委託先:(一社)長野県食品工業協会】
3	「発酵・長寿」情報の発信	委託	「発酵・長寿」ポータルサイトのコンテンツの充実や、北信・東信・中信・南信の4エリアについて発酵巡りツアーのコースを策定し観光資源の掘起しを実施【委託先:ICS-net株式会社】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
3	食品産業技術高度化推進事業費	1,915 千円	610 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	品評会等の開催	直接	本県を代表する食品（清酒・甘酒・そば・豆腐・醤油）について関係団体と共催で品評会を実施【参加事業者数132者】

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算
4	地域資源製品開発支援センター事業費	12,061 千円	11,707 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)
1	企画から商品化までの総合プロデュース	直接	総合プロデューサーを配置し、地域資源活用に取り組む企業に対し、企画から商品化までを支援【相談件数545件、支援件数66件、商品化件数19件】

細事業 No.	細事業名		R1年度 決算	R2年度 決算
5	伝統的工芸品産業後継者育成・販路開拓支援事業		11,983 千円	15,718 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	伝統工芸技術伝承講習会	委託	伝統工芸士、卓越技能者などの熟練技術者等を講師に伝統技術・技能の継承や多様な担い手確保を図る技術伝承講習会を開催 【5産地、27回、参加人数57者（委託先：長野県中小企業団体中央会）】	
2	新規就業者の定着促進支援	補助 金	伝統的工芸品の製造に携わる新規就業者を対象として、その育成費用を助成 【補助先：（通常枠）(株)松本民芸家具、(有)キコリデザイン、(有)丸嘉小坂漆器店 計3者、（コロナ特別枠）(有)一彫堂 他 計10者】	
3	展示商談会の開催・出展	委託	<ul style="list-style-type: none"> ・「組合まつり inTOKYO」へ出展 【出展産地：28産地（Webの特設ブースで県内28産地の伝統的工芸品を紹介、パンフレット、リーフレットを作成し希望者に配布を行った。）、アクセス数：30,832回】 ・夏の特産品展～新型コロナウイルスを吹っ飛ばせ～in木曾くらしの工芸館においてチラシの作成等販売促進をサポート 【出場産地：木曾漆器、来場者：1,754人、展示販売数：16社】 （委託先：長野県中小企業団体中央会）】 	

細事業 No.	細事業名		R1年度 決算	R2年度 決算
6	伝統工芸品支援事業費		574 千円	574 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	伝統的工芸品月間事業負担金	負担 金	伝統的工芸品月間（11月）を中心に伝産関係機関、国、県が一体となり、作り手を使い手が直接対話、交流できる場を設けて、伝統的工芸品の普及、PRを図る 【全国大会、地区大会：オンライン特別展示販売展（負担先：伝統的工芸品産業振興協会、関東ブロック伝産事業実行委員会）】	

細事業 No.	細事業名		R1年度 決算	R2年度 決算
7	食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備支援事業		0 千円	168,723 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備支援事業	補助 金	食品製造事業者等の施設の改修及び新設、機器の整備に対して支援 【補助支援者数：1者】	

細事業 No.	細事業名		R1年度 決算	R2年度 決算
8	食品等製造施設整備緊急支援事業		0 千円	34,523 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	食品等製造施設等整備緊急支援事業	補助 金	世界的な感染拡大の影響を受けた食品等輸出事業者が輸出先国の市場ニーズの変化等に対応するための施設整備費等を助成 【補助支援者数：4者】	